

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 6日

事業所名 きつず・らるげっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0	・基準に基づいて実施している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	1	5		・部屋の仕切りで段差があり、バリアフリーではない為、危険な状況は回避出来るよう対策をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	・職員会議、打ち合わせなどに全職員が参画できるようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	・昨年度よりホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	5	・現在実施していない	
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0		・契約時にアセスメントを実施し、個別支援計画見直し時に課題やニーズを再度分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	2	・標準化はしていないが、それぞれに合ったアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0	・季節の行事、年齢、長期休暇などに合わせて設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	・朝礼や支援会議の中で支援内容や役割分担について確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	・終了後に振り返りを行えない時には翌朝に朝礼で共有するようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0		・保育所等訪問支援を通して年間計画や行事予定を確認・共有出来ている学校も一部あるが、全部ではない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	3	3		・該当者は現在いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0		・保育所等訪問支援で行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	1		・相談支援と連携を取り、相談支援を通して情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	3		・連携していないが、研修等を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	5		・外遊びをしたり、児童館を利用したりしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0		・地域児童部会に積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		・ペアレント・トレーニングを進めるための講習を職員、保護者が受けられるような機会を設けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		・相談があった際には、職員間で共有し、課題について考察する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0		・保護者会を毎年行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0		・毎年ニュースを発行している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	2		・今年度、無料上映会を実施し、SARUGAKU祭に出店。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	2		・保護者への周知にまで至っていなかったが、今年度整備した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		・年2回の消火・避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		・該当する利用者については保護者に説明し、支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5	0		・該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		